

「脊椎手術の傾向・合併症調査に関する多施設研究」へご協力をお願い

—平成 25 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日までに当科において脊椎手術を受けられた方へ—

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学病院 整形外科 准教授 田中 雅人

分担研究者 岡山大学病院 整形外科 助教 杉本 佳久

岡山大学病院 整形外科 助教 荒瀧 慎也

岡山大学病院 整形外科 助教 瀧川 朋亨

1. 研究の意義と目的

あらゆる脊椎手術には頻度が低い合併症（硬膜損傷，硬膜外血腫，術後感染症）から，比較的高頻度に生じる合併症（創の表層感染など）まで様々な合併症を生じる可能性があります。これらの合併症の頻度を正確に把握しておく事は，患者さんへの手術前の説明を行う際に重要な情報になります。今回の研究の目的は，中四国（関西の病院も一部含む）の病院で実施された脊椎手術に関して，術式ごとの合併症の種類，発生頻度などを調査することです。手術の術式ごとの合併症発生数，傾向に関しての，より客観的なデータを獲得できます。このデータは，今後患者さん自身が，手術の有効性や合併症について正しく理解することにも役に立ちます。

2. 研究の方法

1) 研究対象：当院整形外科で脊椎手術を受ける患者さんを対象としています。年間約 200 名の患者さんが対象になる予定です。

2) 研究期間：

平成 25 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

3) 研究方法：

脊椎手術に関して，術式ごとの合併症の種類，発生頻度などを調査します。脊椎手術症例に関して，術前・術後のアンケート（外来もしくは入院中に取得。具体的には JOA CMEQ, JOA BPEQ, SRS-22 など），診療記録から，手術を行うに至った病名，年齢，性別，術式，手術に使用した器材（インプラントの種類），術中出血量，手術時間，術中・術直後に生じた合併症（硬膜外血腫，硬膜損傷，神経損傷など）などを調べます。これによって脊椎手術の傾向を知り，術式ごとに生じうる合併症の頻度が解明されると考えられます。

4) 調査票等：

上記のようなアンケートを外来・病棟で実施いたします。

5) 情報の保護：

患者さんのプライバシー及び個人情報の保護に努めます。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので，平成 30 年 9 月 30 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 整形外科

氏名：杉本佳久

電話：086-235-7273 ファックス：086-223-9727